

湯浅町の未来に向けて

上山章善町長の3期目がスタートしました。
今後の湯浅町政に向けた想いを、
町長は9月定例会において表明しました。

3期目の町政を担わせていただくことになり、誠に光栄に存じますが、今一度初心を振り返り、気を引き締め、ただひたすらに湯浅町の発展に取り組んでまいりたい決意です。

これまでの2期8年間、私は、町民の皆様が、安心して安全に暮らせるまちを目指してまいりました。

「安心・安全のまちづくり」を掲げ、平成20年、町長に就任してから、町内すべての小中学校の建替え・耐震化や防災ラジオの全戸配布、津波ハザードマップの作成をはじめとする様々な事業を進めてまいりました。

また、子育てのしやすい住みよいまちづくりを進めるため、近隣市町に先駆け、中学校卒業まで子ども医療費の無料化や第3子以降保育料の無料化といった若者世代への支援にも着手してまいりました。

町長就任当時は、県内で唯一の赤字団体であり、大変厳しい状況でしたが、

財政健全化に取り組むとともに積極的に情報収集を行い、国や県の施策の波に乗り、交付金、補助金を効果的に活用しながら、町民の皆様の要望に応えて事業を展開することができました。

このように本町の礎を築く、未来への投資を着実に進めていくことができ、さまざまな方々のおかげと存じます。

これからの4年間については、まずJR湯浅駅周辺等整備を進めることによるにぎわいの創出、老朽化が進む保育所の整備などに取り組みたいと思います。

また、全国で唯一の醤油醸造町として選定を受けた重要伝統的建造物群保存地区や湯浅固有の風情・情緒・佇まいといった良好な環境いわゆる歴史的風致を活かした観光振興を積極的に進めてまいるとともに、みかんや新鮮な魚介類などの特産物を活用した取組みも進めてまいりたいと考えています。

本町には、先人が残された歴史や文

化などの魅力がたくさんあります。それらを守り育て、さらに住みよいまちをつくり、子や孫、先の世代へと引き継ぐことが私たちの務めであると考えます。

まだまだ残された課題や問題が山積していますが、一つひとつ解決し、魅力溢れる湯浅町を創造してまいります。
(平成28年9月第3回
定例会町長所信表明抜粋)



8月31日初登庁で挨拶する上山町長



初登庁の日、多くの町民、職員が町長の初登庁を出迎え、花束が送られました。

